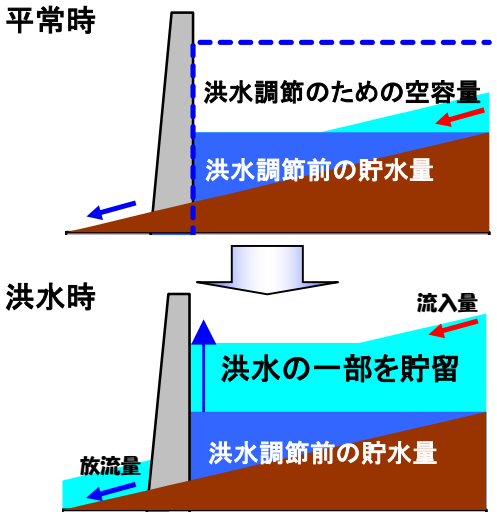
森吉ダムの洪水調節効果【秋田県】（速報）

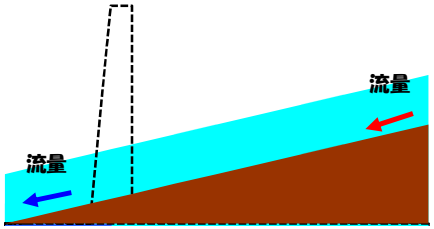
※今後の調査により数値等が変わる場合があります。

ダムの洪水調節機能(イメージ)



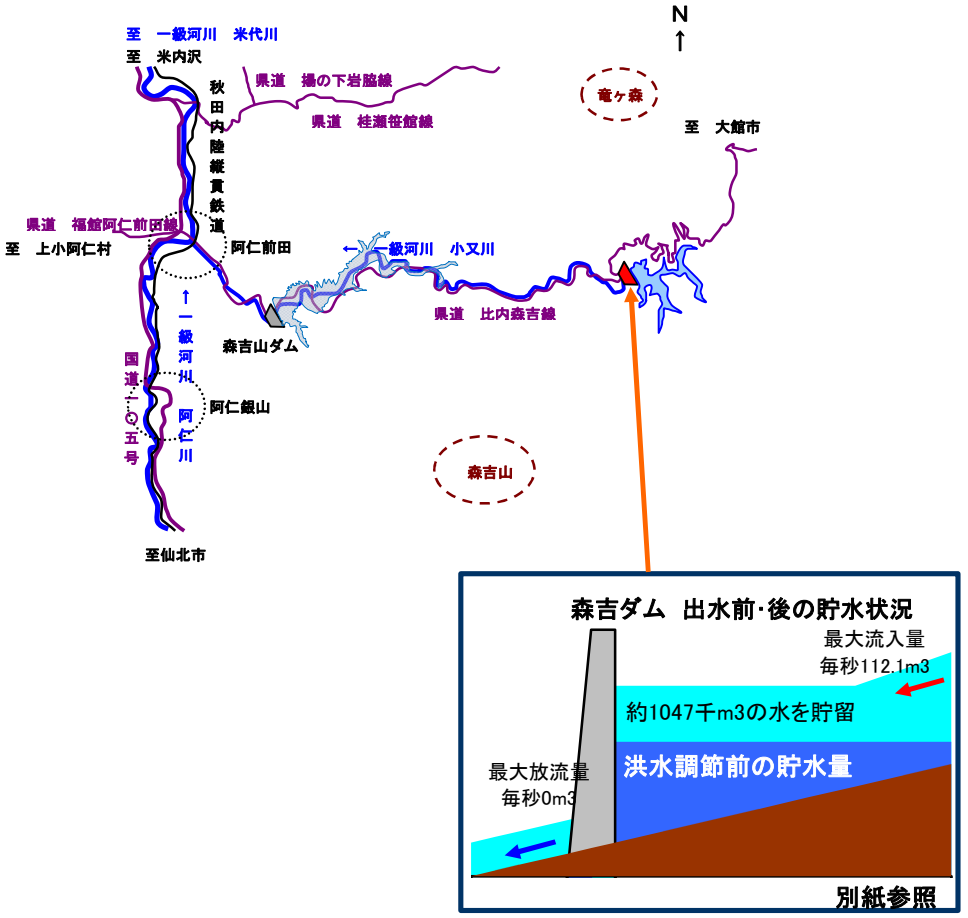
洪水時に、例えば440流れている水のうち250をダムに貯め

ダムがない場合



流れている440の水は、そのまま下流に流れていきます。

このイメージでは、ダム下流河川に流れる水量は流入量の半分以下になっています。



森吉ダムでは10月21日、前線(低気圧)による出水のため、洪水調節を行い
ダム下流の小又川･阿仁川に流れる水量を少なくしました。

森吉ダムの洪水調節効果【秋田県】（速報）　別紙

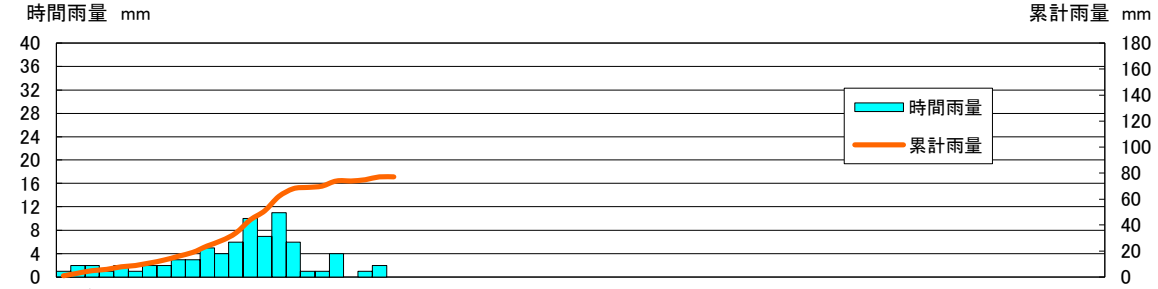
※今後の調査により数値等が変わる場合があります。

概況

森吉ダムでは、10月21日2時から前線(低気圧)の影響による降雨に伴い出水量が増大したため、洪水調節を行いました。

森吉ダムにおける最大流入量は112.07m3/sまで上昇しました。洪水調節の結果、最大流入時の調節量として112.07m3/s、約 1047千m3の水をダムに貯留しました。

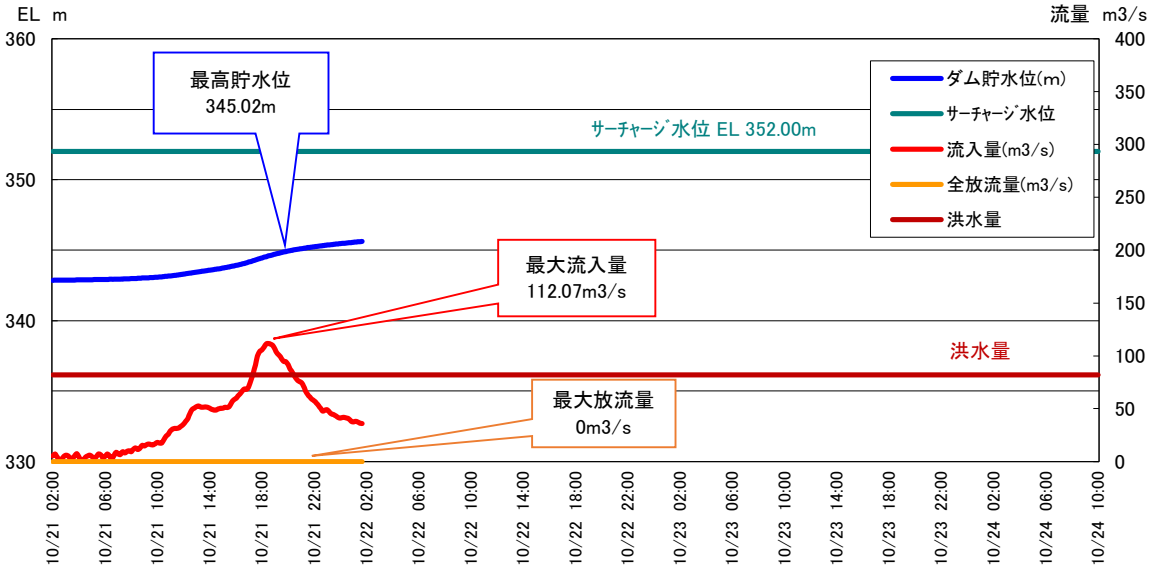
降雨の状況(森吉ダム流域平均雨量)



雨量レーダーエコー



森吉ダム 洪水調節の状況



森吉ダム諸元

河川名	米代川水系　小又川
形式	重力式コンクリートダム
堤高	62．0m
堤長	105．0m
堤体積	75,000m3
集水面積	139．00km2
湛水面積	1．56km2
有効貯水量	26，900，000m3
サーチャージ水位	EL=352．00m
洪水流量	82m3/s
竣工年度	昭和28年